

クローズ  
アップ

## 池坊人

第4回  
森川 佳代さん  
(湖西支部)



池坊短期大学の卒業制作展にて、学生たちと一緒に作品を鑑賞(右から二人目)



定期的に行われる生徒さんとの食事会。仕事や結婚などで一度お稽古を離れた方が、再び戻ってきてくれるのもうれしいことだそう

### 「花をいけることのできる時間」に感謝する気持ちを伝える

森川さんは地元・大津のいけばな教室、JEUGIAカルチャーセンター、滋賀大学教育学部附属小学校、京都文教高等学校での指導のほか、現在は池坊短期大学の准教授としていけばなの授業を担当されています。

「池坊短期大学の建学の精神‘和と美’の通り、花をいける技術だけでなく、人の気持ちを思いやる心、あいさつや身の回りの整理など、美しい生き方を学べるのは礼節を重んじる伝統文化であればこそ」と指導に力が入ります。

また、社中の多くが仕事を持つ女性であることから、現代

社会において「経済面」「時間」「心のゆとり」の三つの条件がそろふことの難しさを実感し、花をいけることのできる時間に感謝の気持ちを持つことをいつも伝えているそうです。これは、子育ての真っ最中に池坊中央研修学院へ通うことになった時、家庭との両立で苦勞されたご自身の経験があるからこそ。

社中にはすでにカルチャースクールや小学校などで指導している方もおられ、レベルアップのために池坊中央研修学院に通い始めた方も。今後も社中が活躍する場を開拓していき、一人でも多くのいけばな指導者を育成していきたいと意気込みます。